

りませんでしたから、一厘も貯りよーがありませんでした』

考へもの

前號の解

- (一) 黒い羊は 殆世の中にありませんから
- (二) 時間

この次の考へもの

- (一) 可愛い一人兒の旅立どかけて
- (二) 曲つた杉の木どかけて なんとく。



家庭



清潔と快樂

香園 女史

清潔といふことは誰しも好まないものはありませ  
 んが 往々奇麗といふことゝ世の中では間違られて  
 何でも美しく飾らなければならぬといふ様に思  
 ふ人もありますが此處で申します清潔は即ちサツ  
 バリとする事であつて左程六かしい事でなく又別  
 段金銭を費さなければ出来ぬといふ事でもあり  
 ません併何處如何なる場所にても如何なる物にも

必要のことで又實に愉快に感じますもので御座います

清潔に致します事は衛生上經濟上何れの點よりいふも誠によきことで身まはりの事について申しますと先づ入浴いたした時の心持頭髮を洗ひ新しき衣服ならばもとよりで御座います。がさなくともサツパリと洗濯した衣服を着ました時は實にいふにははれぬよい心持です。又部屋について考へて見ましてもサツパリと拭き掃除をしてある部屋へは入りました時は誠に愉快で其所にて見るもの聞くものはすべて心を樂しませざるものはなく飲み物たべものも皆れいしいと感じます。これは全く清潔が自然に心を樂しませたのであつて其樂しい心でむかへますから何も角も快のでありませう。それに反對で如何に珍木良材を以てつくりたる家

屋であつて金銀珠寶を以て飾りたて如何なる名工の作にても常に拭き掃除を怠りましたならば何時の間にか部屋の隅々より戸障子など塵埃にて埋められ柱柵床などは次第に黒ばみ疊は何となく濕りたる様になりまことに不快に感じます。又衣服の方よりいふも如何に地質はよく美しき品にても衿のあたり胸から袖口の方まで塗りしことくに垢付けるはよそより見ますのも誠につらいものです。そのほか山海の珍珠にても器物が不潔で御座いましたならば誠に心持のよくないものです。しかし始終かゝる不潔なる家に住ひ垢付ける衣服を纏ひ居らば別に不快にも感じますまいがこれが爲めに知らず識らずの間に身軀を害ふものであります。生れつき虚弱な人もありますからどんな清潔な部屋に居て身軀衣服も常にサツパリとなしても病氣になる人

もありませんが一家に絶えず病人のあるといふは此不潔が原因になることが多いと思ひます流行病などのあるときは御互に一層の清潔を守らなければなりません病人あれば自然と心配が顔にあらはれて不快となるものでありますから其不快をつくる源をどりのけなければなりません

或人の申しますのに清潔なる衣服をさる時は實によい心持であるから我も人も何時もサツパリとしたい室内も清潔なれば外より歸りたる時などは何となく楽しい殊に暑さの折などは猶更であるなどといひながら私の内は忙しくて掃除などするひまがありませんとか子供が多くて片付ける暇がないとかいひ部屋といへば何時もとりみだし障子襖は或は破られ或はいたづらがさせらるゝもすこしも心にどめさる人があります忙しき務があり

子供多き人などはさもあるへき事ならんことをもへどこれも心掛によりては全く爲し得られねことはありますまい忙しきなかにてために働か摸範をしめしますのは自分の身軀の爲でもあり又一方にては子供等の教訓にもなりませうと思はれます故に部屋の掃除は勿論衣服器具より身軀の清潔に至るまで氣をつけませなければ衛生上經濟上よろしくないばかりでは御座いませぬ一家不愉快の基となり其人の心の底まで見すかされ其人の品位を落す事になります少しく心掛さへすればサツパリと心持よくなさるゝものでありますから一身一家のため押し廣めては國家の爲め常に身に行はなければなりません